

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

Superb Micro-vascular Imaging (SMI)を用いた子宮収縮時の胎盤血流の変化に関する検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2025年1月～2027年1月に昭和大学横浜市北部病院産婦人科を受診された妊婦の方

2. 研究目的・方法

分娩が順調に進行するためには、分娩の各時期に必要な陣痛の強さ、持続時間、周期が必要であり、その陣痛が異常であるかどうかに関しては、分娩の進行状況や陣痛パターンをみながら判断しています。陣痛が強すぎる(過強陣痛)と胎児徐脈の原因となることが知られており、陣痛が強くなりすぎないように介入を行います。胎児心拍モニタリングでは把握しきれない胎児低酸素状態の症例も存在します。私たちは長い分娩時間の中で、子宮収縮に伴う周期的な胎盤血流の変化が周産期予後に影響を及ぼすのではないかと考え、より安全な分娩管理を目的に胎盤血流の変化を超音波機器で評価する研究を行います。そこで、胎盤前壁付着であり経時的に胎盤血流を評価できる妊婦さんを対象とし、陣痛発来後に、日常診療でも使用する低流速の血流を評価することができる超音波機器を用い、胎盤血流を評価、子宮収縮時の胎盤血流の変化をデータ収集し、統計解析を行い、胎児機能不全の原因となる因子の抽出とその予知法の開発を目指します。この超音波検査は通常診療で行われる範囲のものであり、患者さん及び胎児に負担がかかるものではありません。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2027年12月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景情報(年齢、身長、体重、妊娠方法、妊娠回数、既往歴)、臨床検査情報(画像情報[超音波、病理画像]、血液生化学所見、血清マーカーなど)、病態(診断名)、診療後の経過情報(治療・予後)。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6 . 研究組織

研究責任者 昭和大学横浜市北部病院 産婦人科 氏名：後藤 未奈子

7 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院 産婦人科 氏名：後藤 未奈子

住所：224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：045-949-7766